

CIICなんでも経審・分析パック データエクスポート手順

一般財団法人 建設業情報管理センター「なんでも経審」又は「CIIC 分析パック」へ【建設業】.NETのデータをエクスポートする場合は、下記手順で作業を行ってください。

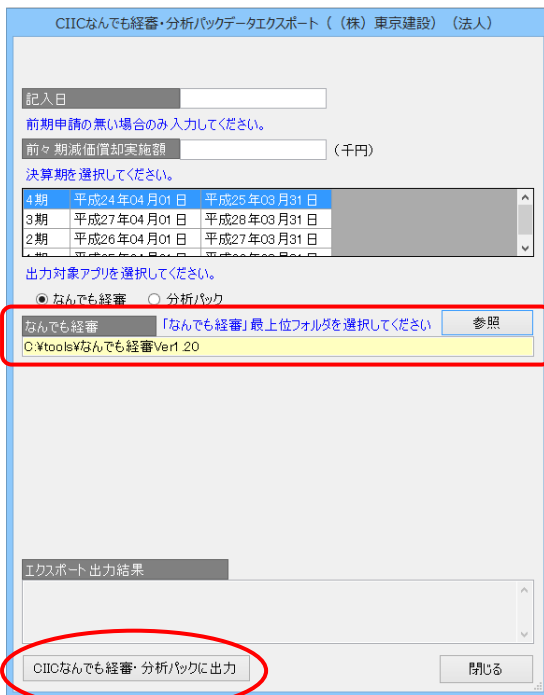
※作業を行う前に※

- ・該当期の財務諸表データが入力、保存されている必要があります。
- ・作業を行うパソコンに「なんでも経審」又は「CIIC 分析パック」が保存されている必要があります。



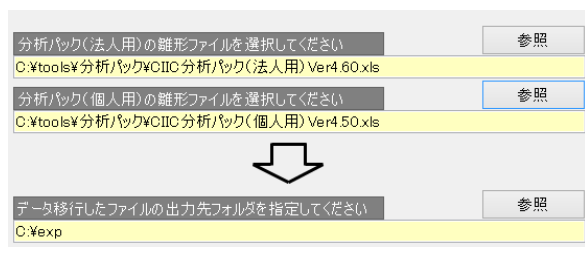
①経営状況分析申請書入力画面にて「登録経営状況分析機関：1」を設定します。

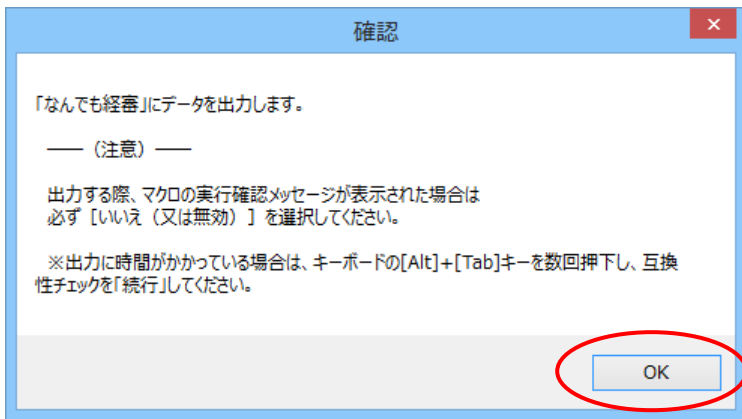
設定すると、画面下部に「CIICなんでも経審・分析パックに出力」ボタンが表示されます。



②「CIICなんでも経審・分析パックに出力」を押下するとデータエクスポート画面が表示されますので記入日、前々期減価償却実施額を入力し、決算期を選択してください。その後、出力対象アプリを選択して「CIICなんでも経審・分析パックに出力」ボタンを押下します。

なんでも経審にエクスポートする場合は、「なんでも経審 Ver〇〇」フォルダ（最上位フォルダ）を指定してください。
尚、雛形ファイルのファイル名は変更可能ですが、「Ver〇〇」のバージョン番号の箇所は変更しないでください。
※2回目以降は前回の設定を引き継ぎます。
※分析パックにエクスポートする場合は分析パックのファイル設定を行ってください。

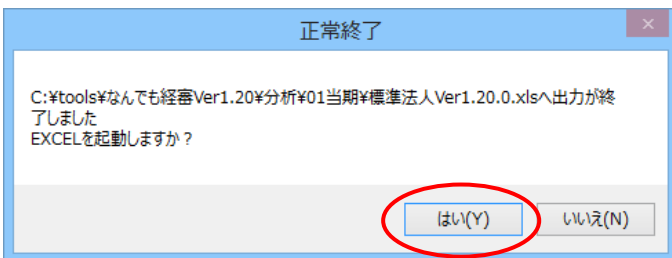




③ [C I I Cなんでも経審・分析パックに出力]を押下すると確認メッセージが表示されます。内容を一読後、
[OK] をクリックします。
※分析パックの場合は「分析パックにデータを出力します」と表記されます。

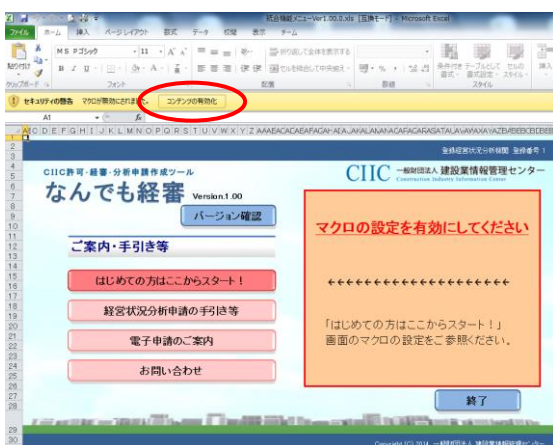
出力対象のファイルがマクロを含んでいる旨のメッセージが表示されましたら、
必ず「マクロを無効にする」をクリックしてください。

※お使いのパソコンの環境によってメッセージ内容が異なる場合があります。

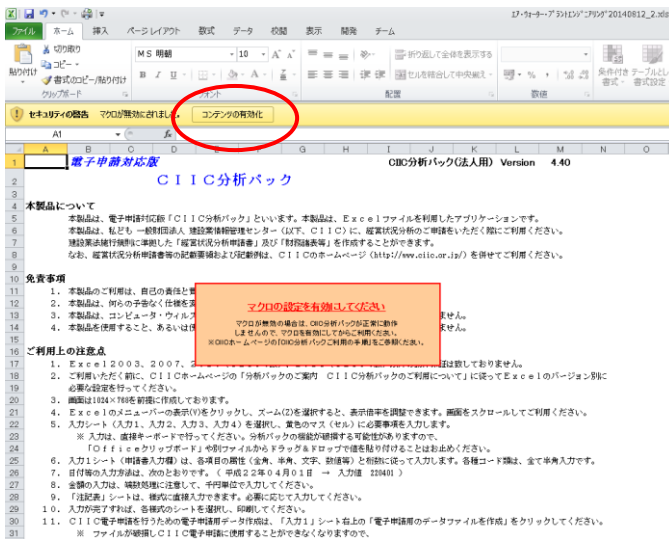


④ エクスポート処理が正常に終了すると確認メッセージが表示されます。
→ 「なんでも経審」の場合 手順⑤-1へ
→ 「CIIIC分析パック」の場合 手順⑤-2へ

※エクスポートに時間がかかる場合は「互換性チェック」確認ダイアログが画面最背面に表示されている可能性があります。詳しくは4ページをご参照ください。



⑤-1 「なんでも経審」の場合
Top画面が起動します。
マクロを有効にして「なんでも経審」をご利用ください。
※マクロの設定方法は「はじめての方はここからスタート!」をご参照ください。



⑤-2 「CIIC 分析パック」の場合

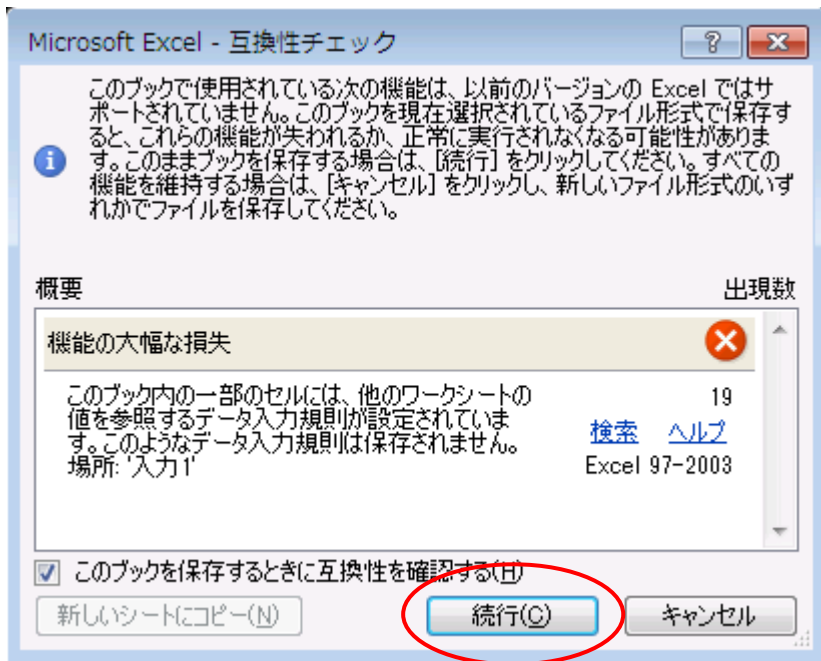
エクスポートした法人又は個人.xls が起動します。

[コンテンツの有効化]をクリックして、マクロを有効にして「CIIC 分析パック」をご利用ください。

※お使いのエクセルのバージョンによってマクロの設定方法は異なります。詳しくは CIIC ホームページをご覧ください。

以上でエクスポート処理が終了します。

☆互換性チェックについて



ご利用中の Microsoft Office のバージョンが 2007 以降の場合、エクスポートデータ保存時に上図互換性チェックについての確認メッセージが表示される場合があります。

これは、拡張子が Office2007 以降の標準拡張子「.xlsx」とは異なり、それ以前の「.xls」の為に表示されておりデータに問題があるわけではありません。

このメッセージが表示された場合は「続行」ボタンを押下して進めてください。

また、この画面がエクスポート画面の背面に表示され、エクスポート処理が止まっている場合がありますので、エクスポートに時間が掛かる場合は、キーボードの [Alt] + [Tab] キーを数回押下し、裏にこの画面が表示されていないか確認してみてください。

☆エクスポート処理に関する注意

【建設業】.NET（以下、【建設業】）からなんでも経審/CIIC分析パックへエクスポートするデータは、【建設業】から印刷される財務諸表データとなりますが、【建設業】となんでも経審/CIIC分析パックでは、入力可能項目数が異なる科目があります。その為一部科目は合算してエクスポートしています。

○科目合算仕様（法人のみ）

		なんでも経審/ CIIC分析パック	【建設業】
貸借対照表	流動資産	販売用資産	商品・製品（兼業）、販売用不動産、仕掛品（兼業）の合算値
		未収入金	未収金、未収収益の合算値
		その他	その他、親会社株式の合算値
	投資その他の資産	関係会社株式・関係会社出資金	関係会社株式・関係会社出資金、親会社株式の合算値
	流動負債	_____引当金	_____引当金、修繕引当金、賞与引当金、完成工事補償引当金の合算値
	固定負債	_____引当金	_____引当金、退職給付引当金の合算値
	株主資本	_____積立金	_____積立金、別途積立金の合算値

○明細科目出力仕様

【建設業】となんでも経審/CIIC分析パックではその他科目の自由入力項目数が異なる為、合計の1/100又は1/10を超える明細科目であった場合でも、その他に合算してエクスポートする個所があります。

例えば、貸借対照表：無形固定資産にて「電話加入権」「施設利用権」「実用新案権」「ソフトウェア」が資産合計の1/100を超える場合、【建設業】では科目化して印字しますが、なんでも経審/CIIC分析パックでは入力可能科目数が3の為、「電話加入権」「施設利用権」「実用新案権」を科目化し、「ソフトウェア」はその他に含まれます。

下表の自由入力項目数以上の飛び出し科目がある場合はご注意ください。

		集約される科目	なんでも経審/CIIC分析パック 自由入力項目数
貸借対照表	無形固定資産	その他	3
	投資その他の資産	その他	7
損益計算書	販売費及び一般管理費	雑費	7
	営業外収益	その他	4
	営業外費用	その他	4
	特別利益	その他	4

○株主資本等変動計算書出力仕様

【建設業】では入力出来てもなんでも経審/CIIC 分析パックでは入力不可となっている項目がいくつかありますので、その該当科目に入力されているデータは自由入力行に合算してエクスポートします。

株主資本等変動計算書												
<input checked="" type="checkbox"/> 自動計算を行う <input type="checkbox"/> 利益剰余金内訳を入力する												
株主資本科目												
	資本剰余金					利益剰余金				自己株式	自己株式申 込証拠金	株主資本合計
	資本金	新株式申込 証拠金	資本準備金	その他資本剰 余金	資本剰余金合 計	利益準備金	準備金及び 積立金	繰越利益剰 余金	利益剰余金合 計			
前期末残高												
当期変動額												
新株の発行												
剰余金の配当												
当期純利益												
自己株式の処 分												
過年度税効果 調整額												
当期変動額合 計												
当期末残高												
行挿入(A) 行編集(E) 行削除(D) 利益剰余金内訳												
株主資本以外の科目												
	評価・換算差額等					新株予約権	純資産合計					
	その他有価証 券評価差額金	繰越ヘッジ損 益	土地再評価差 額金	評価・換算差額 等合計								
前期末残高												
当期変動額												
株主資本以外 の項目の当期 変動額合計												
当期末残高												
備考 ・金額の入力単位は円単位 ・当期末残高行は、貸借対照表の金額(円)と連動 ・当期純利益行は、損益計算書の当期純利益の税抜後の金額(円)と連動 ・利益剰余金内訳は「・・・準備金」「・・・積立金」が複数ある場合に作成してください												
整合性確認(K) 前期末残高読込(B) 登録(C) キャンセル(B)												

上図で ■ の個所が ■ に合算されます。

【建設業】操作及びエクスポート操作に関するご質問はクリックサポートセンターへお問合せください。

なんでも経審/C I I C分析パックの操作（電子申請等）に関するご質問は（一財）建設業情報管理センターへお問合せください。